

## 会 議 録

会議名	第7回松本地域公共交通会議・第7回松本地域公共交通協議会
日 時	令和6年2月13日（火） 10時から11時30分まで
場 所	松本市役所大会議室
次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 会議事項 (1) 松本地域公共交通会議 【議案第1号】松本駅お城口広場路線バス乗降場の再配置について 【議案第2号】令和6年春のダイヤ改正について 【議案第3号】AIオンデマンド交通の運行状況及び今後の計画について 【議案第4号】地域主導バスの見直しについて (2) 松本地域公共交通協議会 【議案第1号】松本地域公共交通利便増進実施計画の一部変更について 【報告事項】路線バスのクレジットタッチ決済サービス開始について 4 その他 5 閉 会
資 料	1 次第 2 会議資料

出席者 (敬称略)	【会長】	高瀬 達夫	(信州大学工学部)
	【副会長】	春日 孝介	(松本市町会連合会)
	【委員】	新倉 孝礼	(国土交通省北陸信越運輸局) (代理：石田) <リモート>
		丸山 正徳	(長野県企画振興部交通政策課) (代理：中川)
		飯田 史晴	(松本地域振興局企画振興課)
		中川 文晴	(松本建設事務所維持管理課)
		山岸 久美子	(松本警察署交通第二課)
		伊藤 亮二	(松本商工会議所)
		藤本 忠和	(アルピコ交通株式会社)
		三澤 洋一	(松本地区タクシー協議会)
		大内 清彦	(アルピコ労働組合松本電気鉄道支部)
		常田 光弘	(松本市PTA連合会)
		新居 禎三	(松本地域公共交通協議会山形村部会)
		豊田 正樹	(松本地域公共交通協議会朝日村部会)
		堤 岳志	(山形村)
		清沢 さおり	(朝日村)
		田原 茂	(松本市)
	(欠席者6名)		
	【事務局】	松本市 交通部	公共交通課

# 1 松本地域公共交通会議

## (1) 協議事項

### ア 議案第1号 松本駅お城口広場路線バス乗降場の再配置について

- 交通ネットワーク課：資料に基づき説明  
＜質問、意見がなく了承＞

### イ 議案第2号 令和6年春のダイヤ改正について

- 事務局：資料に基づき説明
- 委員：利用者が少ない便を廃止するのか。利用者が少ないという基準はあるか。
- 事務局：1便あたり10人程度の利用、収支率20%程度を目安に、見直しを検討する路線として位置付ける。明確に何人を下回ったという基準はないが、誰も乗らずに運行していることが多い路線は、必要性を地元と協議したうえで廃止の検討を進めた。

### ウ 議案第3号 AIオンデマンド交通の運行状況及び今後の計画について

- 事務局：資料に基づき説明
- 委員：①運行台数と運行時間、②収支率、③アプリの利用率はどのくらいか。
- 事務局：①各エリア2台、平日9時から17時まで運行。②無料クーポンを除くと、現状で約10.11%の収支率。システムの開発費等を含めると、収支率は下がる。③アプリ予約より電話予約が多く、約70%が電話予約

### エ 議案第4号 地域主導バスの見直しについて

- 事務局：資料に基づき説明
- 委員：AIオンデマンド交通を地域主導バスに入れていくことはないのか。
- 事務局：AIオンデマンド交通の導入については、地区内の移動を支援するものと捉えているため、地区内の人口集積や施設数等がエリア選定の条件になる。

これに対し、地域主導バスは、以前あったバス路線の廃止に伴い、地域から中心市街地への通勤・通学といった移動を維持していくための方策として地域で協議がなされ成り立ってきた経過である。

今後の地区内移動について、AIオンデマンド交通をすぐに地域主導バスに導入することは性格が違うと考えるが、高齢化が進み不便になる方が増えることを考慮すると、地域主導バスの運行内容について、地区内の移動に視点を置いた見直しも必要になると考えているので、協議会の皆様と協議しながら進めていきたい。現段階で、地域主導バスが導入されている地区の人口集積や施設状況を踏まえると、AIオンデマンド交通の導入には至らなかった。

- 委員：地域が主体になってAIオンデマンド交通の導入を検討していることはないのか。

- 事務局：A I オンデマンド交通は地域住民から求められて導入した。両地区の地域づくりセンターで会議も行っているが、全て市が主体となっているわけではなく、地域の皆様が自分たちの地域内移動を課題として捉えて行っているもので、地域の発意をもとに運行している。
- 委員：松本市では、地域のためのデマンド交通と明確に位置付けされているが、他の地域では、公共交通とデマンド交通が混同してしまっている感覚がある。タクシー事業の存続にも関わることなので、それぞれの位置づけは明確にしていきたい。

## 2 松本地域公共交通協議会

### (1) 協議事項

#### 議案第1号 松本地域公共交通利便増進実施計画の一部変更について

- 事務局：資料に基づき説明  
＜質問、意見がなく了承＞

### (2) 報告事項

#### 路線バスのクレジットタッチ決済サービス開始について

- 交通ネットワーク課：資料に基づき説明
- 委員：チケットQRの機械でサーバーエラーがあり、1時間以上使用できなかったことがあった。そのようなトラブルがあるとかかなり時間を要するため利用客に迷惑がかかってしまう。クレジットタッチ決済の導入にあたって、サーバーエラーが起きないような状態にしていきたい。
- 交通ネットワーク課：ご指摘のとおり、現在運用しているチケットQRで、サーバーエラーにより何度か利用できないことがあり、関係者の皆様に大変ご迷惑をおかけしてしまい申し訳なかった。ドライバーの皆様にとってもご負担にならないような形で、利用者の利便性を高められるよう引き続き進めていきたい。

### (3) その他

- 事務局：今回、会議の委員ではないが、交通会議のあり方について、松本地域における交通課題に対し松本市がどのように取り組んでいくかということを含めて、松本市副市長の宮之本からご挨拶を申しあげたい。
- 宮之本副市長：長野県内だけでも公共交通の近況については多く報道され、松本市議会の2月議会においても多く質問が出た。そういった中で、松本地域公共交通会議のあり方について、意見が異なる方々の議論の行われる場にしていかなくてはならないと考えている。国土交通省の資料の中で、公共交通会議は、住民や利用者、交通事業者等、意見の異なる関係者が集まり、よりよい地域公共交通の実現に向けた議論を行い、合意形成を行う場とされている。こちらが提示した議案に対し質問するというだけでなく、賛成、反対といった議論が活発に行われるよう

にしていきたいと考え、今回参加させていただいた。今後、地域の足をどう守っていくのかについて、この会議の中で、利害関係が異なる皆様とともに活発な意見交換をしていきたい。次回以降私ども主催者が中に入って活発な議論形成の場にしたいと考えている。

- 事務局：法改正があった運賃協議会の新設や、より多くの方の意見が反映されるようなダイヤ編成会議の協議方法についても今後検討していきたい。また、宮之本副市長の会議への参加を含め、委員の皆様のご意見を伺いながら、交通会議が活発な意見交換の場となるよう進め方を見直していきたい。

以上